
ルイージの組織 D L H

黑夜風

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ルイージの組織 DLH

【Nコード】

N8007H

【作者名】

黑夜風

【あらすじ】

兄マリオのせいで影の薄いルイージ。やがてマリオに復讐心を湧かせる。そしてルイージは後に組織を創る。

ルイージが何か言い始める。

「ポケモンになりたい」

「何故!？」

「今の生活が嫌だから」

「今の生活が不服だと?」

「被服です」

字が違う!!

正しくは不服。

あ、上に書いているから分かるか。

「が、頑張れ」

「……うん」

こうしてくだらない研究が始まった。
いつ挫折するのか!?

「酷いや」

*

【ルイージの研究所】

「ども」

誰かやって来た。

「お前は!!!」
「デイメーンさ」

招かれざる客はデイメーン。
お久しぶりです（笑）

「何の用で参った？」
「インフルエンザになりました」
「近寄るなあああ!! 移るううう!!」

こりゃ酷い。
デイメーンの顔が。

（えっ!? 僕!?）

*

「では診察をはじめます」
「よろしく」

アレ？

ルイージって医者だっけ？

医者ならドクターマリオがいるけど。

「これが新札です（笑）」

「殴っていい？」

「す、すいません」

*

数分後……

「診察終わりました、病名は風でレベルは暴風ですね」

「あんた何してたの？」

「真殺です」

「真殺！？」

真殺とは、本当に殺すことである。
って、そのまんまか。

さて、ルイージが真殺をしたかどうかは置いて（オイ

デイメーンは帰っていった。
まあ、当り前か（ちょ

第2話に続く

第1話 マリオとルイージ（後書き）

ルイージの「組織はいつ創るの？」

もう少し先だよ

マリオ「十年後でいいだろ」

ルイージ「酷い!!」

まあ、当り前か（え

「兄さん何故キレるの……？ こうなるのも運命なのに……」

いや、運命は変えられる！！

頑張れば運命なんて変えられr（ry

「な、何だと！？」

「兄さんの時代も此処までさ……これからはボクが目立つ時代だよ

……」

「やかましい！！」

バコッ！！

「ギアアアアア！！ 何しやがる！！」

「うーん、音良くないなア…… もっかいやろ」

「ええっ！？」

ズウウウン……！！

「ギアアアアア！！」

「もっと威力の有る音がいいなア」

ズバッ！！

「お、斬れた」

「……」

「あれ？ ルイージ！？ どうした？」

（死んだふり、死んだふり）

一番、安全？

いやいや、違いますよ（何

「死んだか……」

シュボッ（↑点火した）

「アチチチチチー！！」

「な、何ッ！？」

「あ、まずい」

うん、不味かった。

あの料理は（黙

「この効果音…… ナイスだぜ」

第2話 効果音（後書き）

ルイージ「なア、組織はまだなの？」

……もうすぐだ

マリオ「君に組織の長官は無理」

ルイージ「何だとオ！？」

第3話 変な日々（前書き）

ギャグなんでト書きにしまゝす

ルイージ「ええ!？」

第3話 変な日々

マリオ「前回のあらすじ……ナメリカのデキサス州で肉食った」

ルイージ「すいません、一つもあつてません」

マリオ「やかましい!! この小説にあらすじ書いてあげたんだぞ!! 文句言つとファミコンの中に閉じ込めるぞ!!」

ルイージ（ええええー!?）

*

ルイージ「ニーサン」

マリオ「うわっ! 雑草!!」

ルイージ「ニーサン、ニーサン」

マリオ「誰がニートだア!!」

ルイージ「いや、ニーサンと言つたんだよ……ニーサン」

マリオ「俺の職業は「自宅警備員」だ!! ニートじゃねえ!!」

ルイージ（ニート丸出しじゃん）

マリオ「お前は職業無しのニートだろ！ ハッハッハ！！ 可笑しくって腹痛いわ ハッハッハ！！」

ルイージ「一度病院に行った方がいいんじゃない？」

マリオ「お前こそ雑草人間として遺伝子研究所に行った方がいいんじゃない？」

ルイージ「僕は雑草じゃないよ」

マリオ「あア！？ お前なんか雑草なんだよww 草原のクズ！！ 生えてる価値ねーよ」

ルイージ（もう、イジメだ……）

マリオ「さて、除草剤でも……」

ルイージ「もう、人生嫌だ……」

マリオ「え？」

ルイージ「こんな毎日……も」

マリオ「いや、悪かったよ 雑草さん」

ルイージ「こんなトマトに雑草扱いされるなんて……」

マリオ「誰がトマトだ！ クソ野郎！！」

ルイージ「お前なんかトマトだよ！ 赤デブめ！ 畑のクズが！！」

マリオ（畑のクスゆうな）

ルイージ「さて、市場に連絡を……」

マリオ「売る気がてめエ!!」

ルイージ「はい!!」

マリオ（あいつ絶対殺す!!）

第4話に続く

第3話 変な日々（後書き）

ルイージ「まだア」

……次回、組織誕生！！

ルイージ「マジ!？」

マジだよ

第4話 組織・DLH

【ルイージの研究所】

ルイージ「デイメーン！ 今帰ったぞ！！」

デイメーン「んっふっふっふっ」ルイルイ君、機嫌悪いねエ」

ルイージ「あのトマトのお陰で気分MAXだよ」

デイメーン（気分MAX??）

ヒアリ「ルイージさん！ 奴らが集結しましたよ！！」

ルイージ「来たか……通せ」

ヒアリ「領海」

ルイージ（いや、了解だろ！！）

*

ロゼッタ「ロロロロロゼッタ」イエーイ！ マリオを倒す会のルイージくん」

ルイージ（キャラ崩壊しとるーーー！！）

チコ「チチチチコ」俺もキターーーー!!」

ルイージ（ちょwww）

ワリオ「カカカカネ」金を求めて三万里」

ルイージ「最低……」

デイメーン（いや、実の兄をぶつ殺そうとしてるキミが言える事じゃないけど……）

クッパ「ルイージさん、クッパ到着いたしました。御命令を……」

ルイージ（こいつもある意味キャラ崩壊酷い）

デイメーン「さて、ルイルイ君……」

ルイージ「今日、諸君に集まって貰ったのはマリオ討伐の組織“DLH”の結成の為だ」

キャラ崩壊した連中「オオオ」

デイメーン「では、作戦会議に入ります」

ルイージ（ちょwww 話の途中……）

デイメーン「会議室に行って下さい」

いよいよ、マリオ討伐の会議が開かれる事になった！！
はい、続く

第5話に続く

第4話 組織・DLH（後書き）

遂に組織を立ち上げたルイージ
果たして滅亡は何時になるのか！？

ルイージ「……え？」

第5話 RPG風のバトル

配達員「ゆーびんでーす♪」

ゴシャコン

マリオ「ん？ 手紙か？」

【うつぶん♪ ピーチだよん♪ し・ん・じ・て♪】

マリオ「おお！？ ピーチだー！！」

ちょwww明らかに違うー！！

【でねえ、アンドル城に来て ♪ 因みに東にあるから♪】

マリオ「も、勿論行くとも！ 暇が限り」

【因みに「ソヨソヨ平原」「アッチーナ砂漠」「マジックタウン」を通過してね】

マリオ「うおーー！！ 行くぜえー！！」

*

マリオ「あー……歩くのヤダねえ…… “どこでもドア” はないかしら」

あつてたまるか

つか、キャラ崩壊が酷過ぎww

キノピオ「マリオさん」

マリオ「お！ 頭にキノコアフロつけた変態が居る」

キノピオ「失礼な！ このアフロはハザマタウン限定の“キノコ・アフロ”です！！」

マリオ（いや、外見は全く変わらねから）

キノピオ「さて、マリオさん！ この辺はキノコ王国の管轄地域ですが敵が出るそうですよ」

マリオ「マ、マジで？」

キノピオ「マジです……例えばアイツラとか……」

マリオ「え？」

クリボー「マリオか……」

トゲクリボー「フフッ……」

パタクリボー「我々の相手じゃないな……」

マリオ（どっちがだ）

バトルスタート！！ 1ターン目

マリオ「何故RPG!？」

マリオは文句を言った！
効果はないようだ……

クリボー「“頭突き”！」

クリボーは頭突きでマリオを攻撃！
2ダメージを与えた

「マリオ：10 ↓ 8」

トゲクリボー「“ドゲ頭突き”！」

トゲクリボーはドゲ頭突きをした！
マリオに3ダメージを与えた

「マリオ：8 ↓ 5」

パタクリボー「“空よりの爆撃”スカイ・アタック！！！」

マリオ（何イイイイ！！）

パタクリボーはマリオに2ダメージを与えた！

「マリオ：5 ↓ 3」

マリオ（意外と攻撃力低い……）

2ターン目

マリオ「“次々ジャンプ”!!」

クリボー「グハッ……!!」

パタクリボー「グハッ……!!」

トゲクリボー「ニヤリ……」

マリオは5ダメージをクリボー・パタクリボーに与えた

「クリボー・パタクリボー：2↓0」

『経験値：+6』

マリオ「痛ッ!!」

トゲクリボー「フッフ……」

マリオは馬鹿な事にドゲも踏んだ!

「マリオ：3↓1」

マリオ（馬鹿は余計だろ）

ドゲクリボー「勝負あつたな……」

マリオ「イヤイヤ、「将武」は居ませんよ」

キノピオ「将武って誰だよww」

トゲクリボー「死ぬがいい……“地獄ノ頭突き針（ドゲ頭突き）”!!」

マリオ（また技名がwww）

キノピオ「喰らえ！ “ピュアハート投げ”！！」

マリオ（ピュアハート投げんなよ）

キノピオはピュアハートを投げた！

ピュアハートはトゲクリボーに直撃。

2ダメージ与えた

「トゲクリボー：2 ↓ 0」

『経験値：+3』

「合計経験値：9（残り1でレベルアップ）」

マリオ「オレ勝ったぜええ！！」

キノピオ（最後の攻撃僕だろ！！）

二人の旅は続く……

……多分（え

第6話に続く

第6話 VSクリキング

【ソヨソヨ城】

此処は栗の王様が住む城なのです（黙

クリキング「な、何ッ！？ クリボー達がやられたと……！？」

アイスクリボー「報告ではマリオは城に入ったと」

クリキング「何で城に入ってたバカヤロー！！」

マリオ「いや、城の鍵が落ちてたんで……」

クリキング「なるほど……ってマリオ……！ ええい！ 此処で俺がアンダーランドに逝かせてやる……！」

ハイパークリボー「申し上げます」

クリキング「何だ？」

ハイパークリボー「セクハラは止めて下さい」

クリキング「してねえだろオオ……！！」

バトルスタート…… 1ターン目

「クリキング：10（HP）・5（攻撃力）」
「ハイパークリボー：5・2」
「アイスクリボー：5・2」
「ヤミクリボー：8・4」
「フレイムクリボー：5・2」
「カゲクリボー：9・5」
「ビッグクリボー：10・5」
「マリオ：10・5」
「キノピオ：10・4」

マリオ「“ジーンアタック”!!」

マリオは“ジーンアタック”をした。

「クリキング：10↓5」
「ハイパークリボー：5↓0」〔経験値：+5〕
「アイスクリボー：5↓0」〔+5〕
「ヤミクリボー：8↓3」
「フレイムクリボー：5↓0」〔+5〕
「カゲクリボー：9↓4」
「ビッグクリボー：10↓5」

『経験値：+15』

〔合計経験値：9+15=24〕

△マリオ：レベル1↓2▽

「マリオ：15（HP）・8（攻撃力）」

キノピオ「“ホラーキノコ”!!」

キノピオは“ホラーキノコ”で攻撃！
つか、アイテムじゃんww

「クリキング：5 ↓ 1」

「ヤミクリボー：3 ↓ 0」〔+6〕

「カゲクリボー：4 ↓ 0」〔+6〕

「ビッグクリボー：5 ↓ 1」

『経験値：+12』

〔合計経験値：0 + 12 = 12〕

「キノピオ：レベル1 ↓ 2」

「キノピオ：15・8」

クリキング「喰らえ……“ファラオ・メテオ王隕石”！！」

「マリオ：15 ↓ 10」

マリオ（技名だけかよwww）

ビッグクリボー「“大きな頭突き”！！」

「マリオ：10 ↓ 5」

2ターン目

マリオ「“次々ジャンプ”！！」

マリオは次々踏みにじった

マリオ（踏みにじったはないだろ）

「クリキング：1 ↓ 0」 「+7」

「ビッグクリボー：1 ↓ 0」 「+7」

『経験値：+14』

「合計経験値：24 + 14 = 38」

「マリオ：レベル2 ↓ 3」

マリオ「よし、宿敵クリキング撃破!!」

キノピオ（宿敵!?!?!?!）

クリキング「フッフツ……お前ら、あのお方に殺されてしまうがい
い……」

キノピオ（まだ誰か居るんだ……）

マリオ「此処のボスはあのお方って奴か……」

クリキング（アレ？ 何か勘違いしてない? ?）

次回、あのお方と対決！

第7話に続く

第7話 VS 神クリボー

???「畑のトマト・マリオだな……」

マリオ「誰が畑のトマトだ」

ゴットクリボー「我ゴットクリボー……クリキングよりえらい奴なり……」

マリオ「雑魚には変わらないだろ……」

ゴットクリボー「神の力を見せてやろう……」

マリオ「ドッカンナグーリ」!!」

ゴットクリボー「およ!？」

ゴットクリボー：40 ↓ 38

マリオ「どういう事だ……?」

ゴットクリボー「フフ……」

マリオ「何で手抜きになってんだ? (前回と比べて)」

ゴットクリボー「そっちかよ!!」

キノピオ「キノピオ・ファイナル」!!」

マリオ（パクリ技じゃん）

ゴットクリボー：3 8 ↓ 3 4

ゴットクリボー「おー……びつくりしたなア……」

キノピオ「意外と効いてないし！！」

ゴットクリボー「“頭突き”！！」

マリオ「グハア……」

キノピオ「ギャアア……」

マリオ：1 5 ↓ 5

キノピオ：1 5 ↓ 5

マリオ「強い……！！」

キノピオ「畜生……キノコアフロS欲しかった……よ」

マリオ（キノコアフロS???）

キノピオ「最後の攻撃……“キノコの波動”」

マリオ（何wwそれ？）

ゴットクリボー：3 4 ↓ 3 0

マリオ「さらば人生……“ファイアボール”」

ゴットクリボー「ウギヤアアア……!!」

ゴットクリボー：30↓0

経験値 + 100

「合計経験値：38 + 100 = 138」

「マリオ：レベル3↓7」

マリオ「えーーーーー!!?」

キノピオ「ええええええ!!?」

マリオ「今は、まさに“窮鼠猫を噛む”だ……」

キノピオ（まさか、こんな奇跡が起こるなんて……）

スターテスが跳ね上がったマリオはキノピオと共に冒険を続けるのであった。

第8話に続く

第7話 VS神クリボー（後書き）

神クリボー「ちょwwあっけなさ過ぎ」

マリオ「呆気ない？ 貴公が弱いだけさ……」

まあまあ、雑魚（神クリボー）はよく頑張ったよ

神クリボー「誰が雑魚だアー!!」

第8話 到着！ アンドル城

ゲームオーバー……

マリオは終わった……

全ての力を使い果たして

その場に倒れた……

5時間前のアンドル城……

「此処がアンドル城か」

マリオは見上げる。

冷たい風が吹くこの日。
マリオはアンドル城へとやって来た。
マリオは見上げる。
太陽が輝く。

「マリオさーん 直接太陽を見ていると目に悪いですよ」
(…………… 黙れ!!)

マリオはアンドル城へと入場しようとする。
しかし！
此処で問題が発生する。

「数学の宿題が難しい……………」
「マリオさーん 黙ってエ」

五時間後…………

マリオは倒れた。
それを上から見るルイージ。
後ろからルイージを見つめるデイメーン。

マリオ「ハラが減りすぎた」

*

【アンドル城 内部】

アンドル城はそれ程大きくなり、大きかった。

ルイージ（意味不なのですが……（汗）

そう思うのはルイージ。

マリオの最大のライバルであった。

クッパ（アレ？ 最大のライバルはワガハイでは！？）

キノピオ「マ、マリオさん！ アレはルイージさんでは！？」

マリオ「……………？ 緑のニンジンだ」

ルイージ「俺はダース・ルイダー」

キノピオ（ダース・ベイ○ーのパクリ！？）

ダース・ルイダー「今日こそ決着をつけようか……野生のマリオ」

キノピオ（野生のマリオ！？！？！？）

野生のマリオ「下がっている……キノコスライム」

キノコスライム（誰だー！！！！）

次回、**ダース・ルイダー**VS**野生のマリオ**!!

第8話 到着！ アンドル城（後書き）

次回、ルイダーVS野生のマリオ！！

野生のマリオ「野生のマリオはやめて」

……検討します

野生のマリオ（今直ぐ外せよー！！）

第9話 VS組織DLH 1/2

マリオ「ルイージ!!」

キノピオ「ルイージさん!!」

ルイージ「クククク……そんな、大声で名前を呼ばなくたって聞こえているぜエ」

キノピオ「アレ?　ぜエって息切れですか?」

ルイージ「違うわア!!!!」

マリオ「すきやき!　“ハンマーナゲール”!!」

キノピオ（「隙有り!」ですよね）

ルイージ「ももたらうでんせつ“桃多老伝説”」

突然、階段の上からしわしわになった桃がどんぶらこどんぶらこ、と流れてきた。

ていうか、意味分かんないね（笑）

マリオ「うわっ!　腐ってやがる!!」

ルイージ「ギャハハハハ!!」

キノピオ（何故、爆笑！？）

ルイージ「うらしまたるうでんせつ裏死魔多牢”」

突然、クッパに乗ったワリオが現れた。

クッパ「アイツがワガハイを虐めてきたんじゃー!!」

ワリオ「よし、俺がぶっ飛ばしてやるぜ」

マリオ「デッスーンナグーリ”」

この技を受けた者は必ず死亡する。
マリオは究極技を繰り出した。

クッパ「ギヤアアアー……」

ワリオ「ギヤアアア……」

ロゼッタ「私がマリオを」

マリオ「死ねエ！ “転落の人生”」

ロゼッタは人生の道から転落し死亡した。

マリオ「ハッハッハッハッハッハ」

チコ「ん？」

マリオ「死ね！ “基本的人権の崩壊”」

キノピオ（どんどん酷くなっていつているような……）

チコ「フフツ」

マリオ（笑って死んだ！？）

ワルイージ「ヒヒヒ」

マリオ「“すいまびーむ”」

ワルイージ永眠。

ルイージ「ゆ、許さん！ 許さん！！」

許「何か？」

キノピオ「誰だよ」

ルイージ「殺し屋の許さんだ」

キノピオ「誰だよ！！」

マリオ「ねごとあたつく」

許「グハッ」

許さんは寝言の言い過ぎで死亡。

マリオ「ハッハッハッハ」

ルイーダ「究極必殺技 “ライトグリーンボルト 緑電帝光” !!!」

ルイーダは全身のエネルギーを瞬時に溜め、
そして、マリオに向け攻撃した。
まさに眩しく光輝く緑の槍。

マリオ「フフッ」

マリオは人差し指一本で先程の雷をぶっ飛ばした。

ルイーダ「滅びの呪文!!」

マリオ「何ッ!?!」

キノピオ「何wwそれ?」

ルイージ「チェリイイ」

キノピオ（えー！！！？）

マリオ「スターデストロイヤー
“惑星破壊砲”」

キノピオ「対人間用じゃありませんよね」

ルイージ「ギャアアアアア………」

マリオ「これで宇宙は余の物となった……」

キノピオ（ルイージさんを倒しただけじゃんww）

その時、一人の男がやって来た。

そう……デイメーンである。

デイメーン「んっふっふっふ」　ボクはこの時を待ってたんだ」

マリオ「！？」

デイメーン「さア、今こそルイルイ君と完全に融合すれば究極の戦士・ハイパーデイメーンになれる」

キノピオ（ハイカー？）

デイメーン「それにスターデストロイヤー惑星破壊砲の力も使い果たされたしね」　さア、

サイコーのショーの始まりだ!!」

そう言つとディメーンはルイージと融合。
ハイパーディメーンが完成したのであつた。

第9話 VS組織DLH 1/2（後書き）

ハイパーデイモン「んっふっふっふっふ♪ さア世界制服だ」

キノピオ（征服ですよ 世界中の人に制服着せるんですか？）

マリオ「次回最終回！！」

違う……かも

第10話 VS組織DLH 2/2

マリオ「ハイパーデイモン!?」

キノピオ「ハイパーだろうがハイカーだろうが雑魚には変わらない
……」

マリオ（アレ？ キャラ崩壊!? しかも雑魚かよ）

ヒヤリ「無限大ウルトラ級スペシャルギガハイパワー」!!」

キノピオ「キノコ・ファイナル」

プチッ

ヒヤリ死亡

キノピオ「また雑魚が血迷って死んだか……」

マリオ（怖エエエ!!!）

クッパジュニア「くたばりやがれ！ マリオ！ “ジュニアスイ
ン
グ”」

マリオ「マリオ・パンチ」

バシ！ ベシ！

クッパジュニア「ウアアア……」

クッパジュニア、城外に吹っ飛び死亡

キノピオ「ケツ、雑魚軍団が」

レッドチコ「グリーンチコ投げ」

グリーンチコ「オイ!!」

キノピオ「黙って寝てろ!!」

ダウン!

グリーンチコ「グハッ」

グリーンチコお寝んねタイム開始

ブルーチコ「満点テスト焼却処分」!!」

レッドチコ「邪魔だ」

ダウン!

ブルーチコ「!」

青チコ死亡

レッドチコ「動くなよ! キノピオ! 動いた瞬間このピストルがお前の頭を撃ち抜き」

キノピオ「そのピストルよこせ」

レッドチコ「え？」

ダウン！

ピストル奪われレッドチコ死亡

マリオ「キノピオの奴、キャラ崩壊が激しいな」

ドンキーコング「そりゃ、お前もじゃないか それと相談だがいつそ死んでくれな」

マリオ「ぼつれっしゅ 没列車”！！！”

ポツポッ

ドンキーコング、アンダーランドへ強制連行

ハイパーデイメーン「なかなかやるねえ」

マリオ「殺らなきゃ 殺られるだろ」

カメックババ「正解！ と言う訳で殺らせてもら」

キノピオ「死ねッ！ “あの日の思い出”！！”

カメックババ他界

攻撃内容は御想像にお任せします（笑）

キノじい「フッフッフッフ……某王国の王女と同じく貴様も逝かせてやるぜ」

マリオ「出来るかな？」

キノじい「バルカン半島攻撃”」

やはり攻撃内容は御想像にお任せします

ドドドドドドド！！！！

キノじい「あの時もそうだった　あの女は笑いながら斧を振り回してこっちに走ってきてた」

マリオ（怖エー！！）

キノじい「だから俺はバルカン攻撃で奴を撃ち抜いてやったのだ！！」

キノピオ「ヨーロッパの火薬庫ガード”」

火薬庫爆発

キノじい死亡

キノピオ重傷

バツガルフ「エレキ・ショット”」

キノピオに落雷

キノピオ死亡

バツガルフ「これからの時代スマートに殺すのさ」

マリオ「“コンピューターウイルス転送”」

バツガルフ「♪ □ & a m p ; #
」

バツガルフ、スマートに死亡

ハイパーデイメーン「んっふっふ♪ この組織の連中は役に立たん
ねエ」

ペケダー「何だと!?!」

ハイパーデイメーン「ん?」

ペケダー「殺してやる! 殺してやる!!--!」

ハイパーデイメーン「無駄な事を……」

ノワール「死ね! 裏切り者!!--!」

ペケダー「お! ルミエール君」

マリオ「オオ! ノワール!」

ノワール「世界の崩壊の前に朽ち果てるがいい」

ペケダー「よ、よさなくていい」

ノワール「何イ!」

ペケダー「逝くのは貴様だ “ 実は足元に爆弾が仕掛けてあるじや
ないか攻撃”」

ドカン！

ノワール死亡

ドドンタス「ゆ、許さん」

マネーラ「殺してやる」

ペケダー「“ 所謂君達の足元にも爆弾があるじゃないか攻撃”」

マリオ（またそれがよww）

ドッカーン ♪

ドドンタス& a m p ;マネーラ死亡

ナスタシア「！」

マリオ「“ 第1次世界大戦の始まり”」

ナスタシア「！？」

ナスタシア死亡

ハイパーデイメーン「んっふっふ……」

ペケダー「あの頃、俺はガキだった 父と母も居た」

ハイパーデイメーン「！」

ペケダー「だが殺された！ 奴に全ての友達も！」

マリオ「ペケダー？」

ペケダー「犯人は此処に居る」

マリオ「誰なんだ？」

クイズ皇帝「此处で問題！ ペケダーの一族を殺したのは誰でしょう？」

マリオ「！？！？」

クイズ皇帝「A・ハイパーデイモン B・ヨッシー C・サンデール D・モンテ王」

ペケダー「あいつだ」

マリオ「え？」

クイズ皇帝「答え言ったら殺すわよん」

マリオ（キモ）

クイズ皇帝「では此处でお話を伺いましょう」

ハイパーデイモン「その頃は多くの雑魚を殺ったからなア」

ヨッシー「すいません いっぱい食べてましたんでもしかしたら…」

…」

サンデール「占って、自分に害を及ぼす人間とわかったら全て殺し

たわ」

モンテ王「危険な人間は全て殺す 悪は可能性から根絶やしにする
」！！」

マリオ（怖ッ！！）

クイズ皇帝「あ、間違えたら死んで頂くので宜しく」

第10話 VS組織DLH 2/2 (後書き)

最終回間近！

マリオ「マジ!?!」

最終回 全ては終わる

クイズ皇帝「さア、答えるオー!!」

マリオ「えー、はい肺灰、Aのハイパーデイメーンで」

クイズ皇帝「はい、違います」

ペケダー「答えはク……」

クイズ皇帝「逃げ “デッスーнкエスチョン”」

ペケダー問題を解きたくない病により死亡

クイズ皇帝「答えは俺だー!!!」

マリオ「分かるかア!!」

ハイパーデイメーン「誰が犯人でもいいじゃん こゝ亀でいいじゃん」

クイズ皇帝（黙れ!!）

ハイパーデイメーン「ま、雑魚3人は消しといたから」

いつの間にかヨッシー・モンテ王・サンデール死亡

クイズ皇帝「じゃ、俺がマリオを」

マリオ「マリオ・キック」

クイズ皇帝「アア亜阿A……」

クイズ皇帝、宇宙の「サッカーゴールゾーン」まで吹き飛び死亡
あ、ちよつと違うか（黙

ハイパーデイメーン「さて、残りはマリオだけか」

マリオ「後は残りものか」「ハイーン」

ハイパーデイメーン「ハイーン？」

マリオ「ハイパーデイメーンが長いから略してハイーンだ」

ハイパーデイメーン「死にたいのかね？」

マリオ「ああ!!」

ハイパーデイメーン（何ー!!）

マリオ「死ぬのはお前だア！」「紅き稲妻」

ハイパーデイメーン「お前さ……マリオ」「蒼き稲妻」

マリオ「喰らえ」「嘆きのビデオ」

ハイパーデイメーン「聞くか馬鹿！」「お馴染みの姫」

マリオ「誰だよ！」

ハイパーデイメーン「あア？ 勿論あの女さ」

マリオ「！ まさか……！！」

ハイパーデイメーン「美しく清らかな姫……」

マリオ「桃姫（ピーチ姫）か！」

ハイパーデイメーン「蛇姫ボ。・ハンコツ。だ」

マリオ「……………」

ハイパーデイメーン（アレ？ 空気が凄く重くなっていく）

マリオ「……………誰？」

原作名はスーパーマリオ何で他のキャラは出さないように！
by 黒夜風

ハイパーデイメーン「とにかく死ねエエ！ “百万ボルト”」

マリオ「百万ドルだと！？ 不景気を吹っ飛ばせるじゃねえか！！」

多分、無理そうです by キノピオ

ハイパーデイメーン「負ケーキ？ 何それ？ 負けたケーキ？」

マリオ「腐ケーキだよ！！」

腐ったケーキじゃん byチコ

ハイパーデイモン「富ケーキだが腐家胃来だが知らんがとっとと死ね “はぐれデイモン”」

はぐれデイモン「ウゴオオ！ 溶けるウウウ……」

マリオ「はぐれメタ。的な奴か」

はぐれデイモン「オゴオオ……」

はぐれデイモン死亡

注：作者はドラク。持っています

マリオ「この世の全てを知る者のみ使える究極技……」

ハイパーデイモン「!？」

マリオ「打撃・斬撃・電撃・腐ケーキ全てを含む技……」

一個おかしくね？ byロゼッタ

マリオ「お前はよくやったがくたばれ……」

ハイパーデイモン「………」

マリオ「究極奥義“ドリームテストロイヤールアタック夢破壊攻撃”!!!」

ハイパーデイモン「アアッ!!」

マリオの究極奥義はアンドル城を吹き飛ばし、全てを破壊した（マジで）

マリオ「死んだか……デイメーン」

ハイパーデイメーン「死ねえ！」

マリオ「生きてたのかよ!!」

ハイパーデイメーン「“デス・キャノ”……」

マリオ「“緊急特別削除攻撃”」

使えば必ず、相手を殺せる究極技を発動！

ハイパーデイメーン「ヌガアアア……………いつか、いつか「復習」してやる……」

復讐だ by 神クリボー

ハイパーデイメーン死亡

マリオ「がははは ♪ これで世界の皇帝はこの俺だ！ がはははは ♪ ♪」

*

東より太陽が昇る。
いつも朝がやって来た。

マリオ「ん……マリオ帝国誕生……」

ルイージ「兄さん！起きてよ！兄さん!!」

マリオ「ん……うん？アレ？マリオ帝国は？」

ルイージ「マリオ帝国??何それ？」

マリオ「此処は……ベッドの上？まさか、まさか」

ルイージ「それより兄さん……」

マリオ「夢かアアアアア!!」

ルイージ「手紙が……」

マリオ「え？マジ？」

ルイージ「読むよ？」

〜手紙の内容〜

昨日、敵軍に奇襲されました

その時にピーチ姫が攫われてしまいました（ゴメン！
兵）byキノコ

マリオ殿・ルイージ殿、どうか姫を助けて下さい

byキノじい

マリオ「またかよww」

ルイージ「大変だ！ すぐに行こう兄さん！！」

マリオ「うん……そうだな（面倒くせー）」

こうしてキノコ城へ行くマリオブラザーズ。
いつもの生活の始まりであった。

「ルイージの組織DLH 完結」

最終回 全ては終わる（後書き）

マリオ「また、いつもの日常に戻るのか……」

ルイージ「兄さん 何かあったの!？」

マリオ「……別に（泣）」

ルイージ（何故、泣くの!？）

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8007h/>

ルイージの組織 DLH

2011年10月9日19時50分発行